

## 討議内容

### ・ 行動報告（3 月分）

別紙参照

### ・ 経過報告

## 1. 日臨技

### 総務関連

- ・ 平成 16 年度第 2 回定期総会（予算総会）を 3 月 26 日、東京歯科大血脇ホールで開催した。
- ・ 平成 16 年度会員登録数は 47、842 名（昨年同月 47、081 名）
- ・ 1 月現在の保険加入者数はリンクス：366 名、臨床検査技師賠償責任保健：10、347 名
- ・ 「個人情報保護法施行に関する日臨技ガイドライン」を作成した。
- ・ 共済制度規定、表彰規定、会計事務処理規定について改定する。
- ・ 「危機管理ガイドライン」Vol.1 を発行する。（5 月中にまとめる予定）

### 学術関連

- ・ 平成 17 年度結核奨励賞 近藤正治（久留米臨床検査センター）
- ・ 第 5 回臨床検査国家試験問題の疑義について厚労省へ提出した。
- ・ 第 6 回血尿ガイドライン検討委員会へ油野会員を派遣する。
- ・ 生涯教育研修制度（専門課程）の見直しと受付休止を行う。
- ・ 平成 16 年度精度管理報告書を送付した。
- ・ 平成 17 年度精度管理調査の案内書を送付した。
- ・ 都道府県へ「臨床検査精度管理調査」実施状況調査を行った。

### 渉外関連

- ・ 臨床検査振興協議会への参画については今回見送り。
- ・ 法改正法案が国会審議できるよう要請した。
- ・ 認定一般検査技師制度（仮称）に対する協議会を設置する。
- ・ 平成 17 年度から AED（自動体外式除細動装置）講習会を公開実技講演会として開催する。

### 国際関連

- ・ JICA 集団研修終了式および閉講式に小崎会長を派遣する。
- ・ ペルーからの個別研修員レポートを会報 JAMT 3 月号に掲載する。
- ・ 中国・上海市で開催される第 2 回 AAMLST 学会参加を目的とする第 31 回海外視察を実施する。
- ・ 第 2 回 AAMLST 学会での発表予定人数は 10 名、役員派遣人数は代表団員・調査団員・団員 9 名。
- ・ 平成 17 年 5 月 13 日に日韓代表者会議を開催した。

## 2. 近臨技

- ・ 4 月 13 日に理事会及びチーム医療推進委員会を開催した。
- ・ チーム医療推進協議会で学会区分を大分類「チーム医療」[JAMTIS 99（その他）] 小分類「栄養サポートチーム」「感染制御チーム」「褥瘡対策チーム」「クリニカルパス」「臨床検査室情報提供」「治験コーディネータ」「ポイントケアテスト」「糖尿病療養指導」とすることを申請する。10 月 14 日午後 6 時～9 時、滋賀学会前日に大津市ピアザ淡海で「21 世紀を担う臨床検査技師実践セミナー・滋賀 2005 -」を糖尿病療養指導の実践、一緒にやろう！感染制御チーム、こうして作る栄養サポートチームについて開催する。（参加資格 日臨技会員）
- ・ 理事会で奈良学会の会計報告があった。学会招待者の定義として他団体との関係の取扱いの明確化

(招待の範囲)を討議した。タイとの交流について和臨技からスケジュールの提示があり、近臨技主催・和臨技担当を確認した。第45回近畿医学検査学会の進捗状況の説明があった。次回6月理事会で平成17年度予算と平成16年度決算の説明がなされる予定。

### 3. 事務局

総務部(庶務)3月24日に部会を開催した。

- ・大臨技名簿の再発行に関し状況調査を実施した。
- ・定期総会の開催準備をした。
- ・大臨技メーリングリストの立ち上げ準備をした。

総務部(会計)

- ・2月度収支計算書を作成した。
- ・16年度決算書の作成準備をした。

総務部(広報)

- ・大臨技ニュース4月号を発行した。
- ・ホームページを更新した。

渉外部

- ・3月15日に部会を開催した。
- ・冬季献血活動を開催し、申込者75名で53名の献血者があつた(献血対象基準が高く献血率の低下を招いた)。
  - ・17年度活動の準備として、広報用配布物を準備した。
  - ・糖尿病療養士講演会を開催し参加者72名を集めた。17年度はチーム医療推進委員会の1部会として活動する。
  - ・17年度企画について協議し担当者等を変更した。

### 4. 事業局

情報組織部

- ・3月17日に部会を開催した。
- ・第5回大臨技フォーラムの反省会を実施した。
- ・部員に対し定期総会への参加を要請し大臨技名簿の不都合について説明した。
- ・17年度企画について協議した。
- ・平成16年度事業決算について報告した。
- ・平成17年度事業の開催日を決定した。

医療の質の指標と第3者評価：6月11日(15~17時、府中病院)

大臨技フォーラム：7月16日、11月19日、18年2月18日(時間未定)

疾病別原価管理：10月22日(15~17時、成人病センター)

地区事業部

- ・3月17日に部会を開催した。
- ・部員に対して定期総会への参加を要請し大臨技名簿の不都合について説明した。
- ・平成17年度事業について協議した。
- ・定期総会の議長候補を選出した。
- ・施設連絡者会議(6月4日、17:30~、阪南パラドーム)の開催準備をした。

学術部

- ・報告事項なし。

・その他報告

#### 1. 平成16年度日臨技第2回定期総会について

来年度の方針として法改正、国際関係、認定技師、精度管理（ネクアス）、女性部会等について強化する方針。ISO15189のサーベイヤー選出基準について等の質疑応答があった。

#### 2. 臨床検査技師養成学校との懇談会について

3月30日に開催し、阪大保健学科、日本医療、大阪医療、近畿医療から出席があり、以下を結論とした。

学生に対して大臨技ニュースの配布（1学年分）

大臨技主催事業への無料参加

実務研修における講師の派遣または紹介

教員に対し施設連絡者会議等での発表、ニュース等への投稿依頼

18年度には学術部を担当部会として学生を対象とした事業を企画

次回懇談会は8月30日

#### 3. リンクスについて

3月に申し込みを行った。近日中に各事業部役員及び世話人を対象とした説明会を開催する。

#### 4. その他

大阪市健康展（ヘルスジャンボリー2005）への参加を決定した。地区事業部が担当し体験型の催しを企画する。

日臨技から各種委員会の委員就任要請がありこれを承認した

- ・認定検査技師制設立準備委員会委員を今井副会長
- ・ホームページ部会委員を真鍋氏
- ・JAMTIS 運営部会委員を吉本理事

日臨技から臨床検査データ共有化のアンケート調査依頼があり回答を近大病院・増田氏に委任した。

#### ・議題

##### 1. 「看護の日」協力について

竹浦理事から協力事業内容について説明があり他理事への出席要請を行った。大阪府宛に事業参加協力金を支払った。仮設診療所の開設を目的とした医師の確保は断念し測定に主眼を置く。

##### 2. 平成17年度第1回総会の運営について

議事運営案を了承した。地区事業部・喜舎場氏を第一議長候補とした。開会案内は北中理事の任とした。決算報告に関する打合せ会議は5月理事会後総会前日までに行う。

##### 3. 名簿再発行について

総務部から名簿誤記に関し コンピュータ処理による編集過程において誤操作があり過去の履歴情報などを混在させた その後の人的確認作業を省略した、とする調査報告があった。再発防止策案として、現在の作成方法を継続しつつ確認機能を強化（役員及び各部世話人に対し確認作業要請をする）することが提案され承認された。再発行時期は多数の新入会員が入会手続きを終えたとする時期つまり7月1日現在が提案され承認された。

##### 4. 個人情報保護法への対応について

弁護士事務所における質疑応答を参考として会長から基本方針が提案された。他役員には補足・修正点及び質問事項に関し4月29日を期限としての提出を要請した。個人情報保護に関する誓約書は役員・各部世話人全員から提出を求める予定。安全管理規定により、今後は事務局担当副会長を取扱責任者に指名し個人情報を取り扱う場合及び事務所入所時においては取扱責任者の許可を必要とさせる。情報保護を目的とした各種作業手順書を整備する。

5. 健康食品管理士特例研修会の対応について

岩谷・大阪大学が窓口となり9月3・4日の開催が決定されたため大臨技は「後援」形式で支援する。

6. 薬剤師会・栄養士会との合同事業について

合同事業の打診で薬剤師会からの同意が得られたため合同事業企画を推進する。

7. その他

吹田市からの健康展実行委員会委員の推薦依頼の対応は田畑理事に委任した。

東大阪保健所からの衛生検査所精度管理専門委員の推薦依頼は大阪医大病院・村上氏を推薦とした。

5月理事会の開催予定日を5月11日(水)に変更した。